



日本遠隔医療学会雑誌 第12巻 補刊号
平成29年3月

Japanese Journal of Telemedicine and Telecare
Vol.12 Supplement

一般社団法人

日本遠隔医療学会

Japanese Telemedicine and Telecare Association

JTTA 2015 SENDAI

A-1-1	服薬支援装置の開発と評価－花巻服薬支援プロジェクト－(鈴木 亮二) ……………	2
A-1-2	国際的な遠隔医療カンファレンス運営のために必要な 情報項目の標準化に向けた取り組み(工藤 孔梨子) ……………	2
A-1-3	学術ネットワーク(SINET)を使った胎児心エコーセミナーの報告(川瀧 元良) ……………	3
A-2-1	鳥装着用2.4GHz送受信モジュールの通信性能の基礎的評価(北野 利彦) ……………	3
A-2-2	生体情報を自動ファイル転送する鳥鳥間通信プロトコール －時分割タブレット方式による同報通信－(中島 功) ……………	4
A-2-3	鳥類の呼吸テレメトリーに有用な計測法の検討(猪口 貞樹) ……………	4
A-3-1	遠隔画像診断と病診連携事例統報－検査数の傾向考察－(嗣江 建栄) ……………	5
A-3-2	遠隔画像診断システムによるオンコール医師の負担軽減に関する検討(郡 隆之) ……………	5
A-3-3	医療過疎地域における遠隔診療支援システム(k-support)253例の解析(小幡 史明) ……………	6
A-4-1	e-MADOシステムにより遠隔リハビリを実施した 小児患者の家族に対する満足度調査(松清 あゆみ) ……………	6
A-4-2	構音障害のある患者への電子連絡ノート(His@home)の活用(内海 桃絵) ……………	7
A-4-3	在宅難病患者と医師との高度テレコミュニケーションシステムII(滝沢 正臣) ……………	7
A-4-4	多言語医療支援システムの研究開発－看護師が翻訳を必要とする臨床会話－(長嶺 めぐみ) ……	8
A-5-1	遠隔医療推進策の動向(長谷川 高志) ……………	8
A-5-2	伝送画像による病理診断を実現するためのデジタルパソロジー技術基準の検討(東福寺 幾夫) ……	9
A-5-3	How to measure the long-term effect of e-Health : application of DID-PSM (Masatsugu Tsuji) ……	9
A-6-1	医療連携におけるベンダー・ニュートラルシステムの必要性と課題(近藤 博史) ……………	10
A-6-2	救急搬送支援システムの試作(岡崎 浩幸) ……………	10
A-6-3	地域医療ICTネットワーク「あじさいネット」を利用した 長崎県全域の検査データ共有に関する取り組み(松本 武浩) ……………	11
A-6-4	Health checkup and telemedicine system in post-disaster situations (Min Hu) ……………	11
A-7-1	米国におけるクラウドベースCPAP診療の現状(吉嶺 裕之) ……………	12
A-7-2	在宅人工呼吸器の遠隔監視、アラーム通報の試み(中村 昭則) ……………	12
A-7-3	在宅医療総合支援システムの構築に向けた リアルタイム多地点遠隔生体モニタリングシステムの開発(吉川 健太郎) ……………	13
A-7-4	高齢者慢性疾患の経過観察中に発生する急性疾患に対するテレモニタリングの有効性 －バイタルサインと歩数のモニタリングによる発症の早期検出能－(本間 聡起) ……………	13
分科会	新しい周産期遠隔医療と周産期ICTの普及と展望(小笠原 敏浩) ……………	14
B-1-1	心臓病の早期発見のためのコストを抑えたホルター心電図システム(鎌田 弘之) ……………	14
B-1-2	遠隔リアルタイムモニタリングシステムの有用性(笠原 真悟) ……………	15
B-1-3	インターネットを利用した脳波の遠隔診断(大沼 歩) ……………	15
B-2-1	支援側医師の立場からみた眼科遠隔医療支援の成立に必要な情報提供(花田 一臣) ……………	16
B-2-2	遠隔放射線診断の経験(大学発ベンチャー企業として)(石橋 忠司) ……………	16

B-2-3	テレナーシング教育プログラムの開発と参加者による評価 (亀井 智子) ……………	17
B-3-1	県内全域に拡張した地域医療連携システムの可能性と問題点 (中山 雅晴) ……………	17
B-3-2	少子超高齢社会と大規模災害に対応した広域医療情報連携ネットワークシステム (小山 耕太郎) ……	18
B-3-3	原子力災害医療における web 会議システムの運用経験 (長谷川 有史) ……………	18
B-3-4	インターネットを使った胎児心エコーセミナーの経験 (川瀧 元良) ……………	19
B-4-1	脳卒中後遺症にたいする遠隔サポートを加味した在宅ロボットリハビリの検討 (二宮 淳一) ………	19
B-4-2	遠隔リハビリテーションの有用性と課題について —南極基地で発生した骨折例の検討 (大野 義一郎) ……………	20
B-4-3	非皮膚科向け皮膚疾患診療・治療補助サービス (ヒフミル君) を使用した臨床経験とその有益性 (竹村 昌敏) ……………	20
B-4-4	リアルタイム遠隔外来を活用した眼科医療連携 (山口 亨) ……………	21
B-5-1	バーチャルスライド画像 (VS) を用いた WEB カンファレンスの検証 (松村 翼) ……………	21
B-5-2	バーチャルスライドを利用した国際的な病理コンサルテーションシステムの開発 (宇月 美和) ……	22
B-5-3	PC 遠隔操作ソフトとバーチャルスライドを用いた多施設共同研究 —病理中央診断支援システム構築 (鈴木 博義) ……………	22
B-5-4	コンタクト・イメージセンサによる病理画像配信システムの構築 (佐藤 太一) ……………	23
B-6-1	大規模遠隔カンファレンスシステムを用いた 広域がん放射線治療ネットワークの取り組み (萩原 靖倫) ……………	23
B-6-2	遠隔テレビ会議システムを用いた津波被災地病院の外来・病棟の連携 (三島 英換) ……………	24
B-6-3	遠隔カンファレンスシステムを用いた関連病院 TV 会議 (清水 宏明) ……………	24
B-6-4	医療過疎地域に対する ICT による急性期脳卒中診療支援の検証 (影治 照喜) ……………	25
B-7-1	遠隔地からの被災地母子支援施設への タブレット型多機能携帯端末使用による健康相談の試み (大槻 優子) ……………	25
B-7-2	高齢者を対象としたテレナーシングシステムの運用上の課題 (中島 紀高) ……………	26
B-7-3	人型ロボットを用いて行う認知症患者と 家族の生活支援を目的としたアプリケーションの開発検討 (坂田 信裕) ……………	26
B-7-4	在宅主治医のチーム化による看取連携システムの開発 (石川 哲男) ……………	27
B-8-1	中規模地域拠点病院への術中迅速遠隔病理診断支援の現況と今後の課題 (阿部 博之) ……………	27
B-8-2	バーチャルスライド (VS) 画像による VS 診断 (VS 画像のみでの病理診断) の正診性 (吉澤 明彦) ……	28
B-8-3	現場発電型電源を用いたウェアラブルセンサテレメーター発信器 (松本 成史) ……………	28

JTTA 2016 YONAGO

A-1-1	ラジオ難聴地域でも運用可能なインターネット防災ラジオシステムの開発 (松本 浩樹) ……………	30
A-1-2	熊本地震急性期における ICT の利活用 (島谷 竜俊) ……………	30
A-1-3	地域医療教育における電子ポートフォリオの有効性 (井上 和興) ……………	31
A-1-4	ICT を用いた他施設医師による専門診療支援事例報告 (嗣江 建栄) ……………	31
A-1-5	テレビ会議システムを使った胎児心エコーの遠隔ハンズオン (川瀧 元良) ……………	32
A-2-1	複数の鳥に装着する 2.4GHz 帯送受信モジュール間の 相互通信性能に関する実験的評価 (北野 利彦) ……………	32
A-2-2	潜因性脳梗塞患者の塞栓源検索における 前胸部貼付型テレメトリー式心電送信機 duranta® の有用性 (秋山 久尚) ……………	33
A-2-3	マイクロ波を使った鳥類の心拍・呼吸モニタの研究開発 (中島 功) ……………	33

A-2-4	高齢者に対するビデオ会議システムを用いた 改訂長谷川式簡易知能評価スケールの信頼性試験 (岸本 泰士郎)	34
A-3-1	ハングラデシュへの遠隔医療システム導入例 (郡 隆之)	34
A-3-2	在宅難病患者総合情報共有のための電子チームケアシステムの利用評価 (滝沢 正臣)	35
A-3-3	定期的な遠隔医療カンファレンスにおける技術的準備のトラブルに対する影響： 小児がん拠点症例検討会の例 (富松 俊太)	35
A-3-4	高齢者慢性疾患対象の遠隔診察実験 －システム稼働性と遠隔診療と対面診療との比較を含めた検討－ (本間 聡起)	36
A-3-5	訪問看護による遠隔看護システムを介した 高齢者住宅入居者の在宅支援サービス付き高齢者向け住宅での運用 (菊地 ひろみ)	36
A-3-6	医師間診療互助プラットフォームとしての ヒフミル君利用による地域の専門医紹介に関するアンケート結果と考察 (竹村 昌敏)	37
A-4-1	地域医療連携ネットワークの海外動向：実地調査からの分析 (辻 正次)	37
A-4-2	国際的な遠隔医療カンファレンス運営のための情報デザイン －人物情報管理のモデル化及びシステム構築－ (工藤 孔梨子)	38
A-4-3	眼科遠隔医療支援ガイドライン (旭川医大版) (石子 智士)	38
A-4-4	高齢者リハビリテーションのための買い物支援アプリに必要な要件調査 (本村 信一)	39
B-1-1	人工膝関節置換術後患者に対するテレリハビリテーションの導入 －ケースシリーズによる検討－ (山口 英典)	40
B-1-2	統合型遠隔医療支援情報システムの構築 (横田 祐介)	40
B-1-3	介護施設における遠隔健康管理システム (安診ネット) を活用した健康管理支援の経験 (前田 俊輔)	41
B-1-4	在宅療養患者の無拘束遠隔モニタリングを実現する 付け爪型脈波センサ用計測回路の開発 (遠山 皓介)	41
B-2-1	視線追跡システムの利用事例報告 (松清 あゆみ)	42
B-2-2	保健医療福祉分野公開鍵基盤電子認証局のセキュリティ強度の強化と互換性の確保 (山田 恒夫)	42
B-2-3	「医療情報の整備」実態と「医療機能情報提供制度」に関する文献調査 (豊増 佳子)	43
B-2-4	3種類のヒト型コミュニケーションロボットを用いた 遠隔医療における利用シーンの検討 (坂田 信裕)	43
B-2-5	高齢者の生活を見守る「孫ロボ」の紹介 (水澤 純一)	44
B-3-1	IOTとしての遠隔リアルタイムモニタリングの活用 (笠原 真吾)	44
B-3-2	Vidyo® System を用いた胎児心臓超音波検査の遠隔ハンズオンセミナーの試み (田形 千寿子)	45
B-3-3	非皮膚科向け皮膚疾患診療・治療補助サービス ヒフミル君に対する意識調査の結果とその考察 (竹村 昌敏)	45
B-3-4	脳卒中遠隔医療のための教育ツール (伊佐早 健司)	46
B-3-5	遠隔医療教育のための全ユーザーが再生操作・指示可能な動画像共有ツールの提案 (北村 泰一)	46
B-4-1	遠隔診療が医療に寄与する役割のフレームワークに関する 諸外国のガイドライン等から見た一考察 (佐藤 大介)	47
B-4-2	遠隔医療分野で予想される法的問題点 (伊藤 寛之)	47
B-4-3	遠隔診療を容易に実施できるソリューションによる遠隔診療の普及の現状 (島 佑介)	48
B-4-4	遠隔診療の実施に関連した法的論点への回答事例 (田丸 雄太)	48
B-5-1	インターネットを利用した減塩行動支援方策は 高血圧を有する就労層の減塩に有効である (萩原 悠太)	49

B-5-2	最新の画像処理技術を応用した遠隔医療システムの開発 (松本 桂太郎) ……………	49
B-5-3	禁煙外来受診継続、禁煙達成における遠隔診療の効果の検討 (来田 誠) ……………	50
B-6-1	「ウェルネットリンク」を利用した眼底健診と緑内障に関連する因子の検討 (木ノ内 玲子) ……………	50
B-6-2	地域医療 ICT ネットワーク「あじさいネット」における 診療所で実施した検査データ共有の取組み (臼井 哲也) ……………	51
B-6-3	地域における心原性脳塞栓症発症予防のための新しい取り組みについて (久保山 修) ……………	51
B-6-4	遠隔診断支援システムを用いた超音波胎児診断支援の経験 (羽場 巖) ……………	52
B-6-5	歯科領域における保険請求を前提とした遠隔画像診断サービスについて (江島 堅一郎) ……………	52
S1-1	人工呼吸器のアラーム伝送の試み (第 3 報) (中村 昭則) ……………	53
S1-2	在宅利用人工呼吸器開発のための国内調査 (滝沢 正臣) ……………	53
S1-3	現用人工呼吸器のアラーム外部伝送の試み 第 1 報 (吉川 健太郎) ……………	54
S1-4	ガイドラインに沿った在宅用人工呼吸器 (Phase II) の開発 (鈴木 徹也) ……………	54
S2-1	大災害での母子健康手帳活用の問題点と課題 (小笠原 敏浩) ……………	55
S2-2	災害対策と地域医療ネットワーク (K-MIX) (原 量宏) ……………	55
S2-3	奄美群島の周産期遠隔医療における豪雨災害対策 (小田切 幸平) ……………	56
S2-4	東南アジアでの周産期遠隔医療と災害対策 (樽松 八平) ……………	56
S3-1	臨床現場での遠隔睡眠医療の実践 (千葉 伸太郎) ……………	57
S3-2	新規 CPAP 導入患者に対するクラウド型 CPAP 管理システムの有用性の検討 (吉濱 裕之) ……………	57
S4-1	遠隔診療の臨床研究デザインの研究 (長谷川 高志) ……………	58
S4-2	厚生労働省事業「遠隔医療従事者研修」研修カリキュラムの現状と今後の課題 (長谷川 高志) ……………	58
S5-1	服薬状況見守りの重層化に関する意義と課題 (鈴木 亮二) ……………	59
S5-2	重層的見守りの構築のための先導的研究について:見守りセンターとしての福祉施設 (鎌田 弘之) ……………	59
S5-3	見守りと生活支援が重層化することの効果と課題 (小川 晃子) ……………	60
S5-4	見守りポータルサイト活用の効果と課題 (小川 晃子) ……………	60
S6-1	テレビ会議システムを用いて行う認知機能検査 高齢者における有用性と今後の展望 (飯干 紀代子) ……………	61
S6-2	遠隔精神科医療の法政策 - 着実な社会実装に向けて - (藤田 卓仙) ……………	61
S6-3	遠隔医療の政策動向について (吉村 健佑) ……………	62

JTTA Spring Conference 2015

1-1	高齢者人口増加に備えた心の問題の解決 - 遠隔医療と地域医療連携による考察 - (勝間田 実三) ……………	64
1-2	在宅療養環境改善のための総合 ICT ケアシステムの構築 (中村 昭則) ……………	64
1-3	高齢慢性疾患患者に対する遠隔診察の経験からみた遠隔聴診の活用法 (本間 聡起) ……………	65
1-4	地域包括ケアに向けた高齢者の健康指導支援システムに関するフィールド実証結果 (高橋 誠治) ……………	65
2-1	WEB 会議システムを用いた強迫性障害への心理治療 (曝露反応妨害法) の試み (岸本 泰士郎) ……………	66
2-2	服薬情報の利活用に関する一考察 (荒木 玲子) ……………	66
2-3	人型ロボットの遠隔医療支援への活用検討 (坂田 信裕) ……………	67
2-4	保健医療福祉分野公開鍵基盤の電子認証局構築 (山田 恒夫) ……………	67
2-5	インド共和国トリプラ州における遠隔眼科医療プロジェクトの事例 (木村 功) ……………	68
S1-1	地域包括ケアシステムに資するための ICT 活用見守りの統合 - 見守りポータルサイト構築 - (小川 晃子) ……………	68
S1-2	「薬の飲み忘れと見守りを考える会」開催結果報告 (鈴木 亮二) ……………	69

S1-3	医療介護専用 SNS が実現する患者中心のコミュニケーション改革 (葭葉 敦史) ……………	69
S1-4	在宅医療における小型心電計の可能性 (岡庭 貴志) ……………	70
S1-5	見守りサービスと技術に関する利用者、提供者への認証情報提供の提案 (長谷川 高志) ……………	70

JTTA Spring Conference 2016

1-1	眼科専門医に簡単に相談できるサービス「メミルちゃん」の運用経験世界初の眼科診療遠隔支援サービスを行って分かってきたこと (加藤 浩晃) ……………	72
1-2	非皮膚科向けアプリ「ヒフミル」を通じて得た知見オンライン診療に対する現在の認識 (竹村 昌敏) ……	72
1-3	高齢者のタブレット型テレナーシングシステム利用時における機器の障害事例 (中島 紀高) ……………	73
1-4	高齢者の心の問題の解決方法 問診票と fMRI を活用した方法の可能性 (勝間田 実三) ……………	73
1-5	米国高齢者施設における病院搬送の適正化の試み トリアージと情報共有による医療と看護のチーム連携 (木村 功) ……………	74
2-1	遠隔医療システムにおける情報セキュリティ (岡崎 浩幸) ……………	74
2-2	地域医療連携システムのコストおしどりネットにおける標準化と経費 (近藤 博史) ……………	75
2-3	遠隔医療に必要な医療フローの検討 (八幡 勝也) ……………	75
2-4	コミュニケーション用ロボットの一般普及が及ぼす遠隔医療への影響 (坂田 信裕) ……………	76
S1-1	生体情報遠隔モニタリング開発と経緯 (滝沢 正臣) ……………	77
S1-2	多地点リアルタイム遠隔生体モニタリングシステム開発 (吉川 健太郎) ……………	77
S1-3	遠隔モニタリングとリンクした電子チームケアクラウドの開発 (石川 哲男) ……………	78
S1-4	アラーム外部伝送人工呼吸器の開発 (鈴木 徹也) ……………	78
S2-1	Telepsychiatry の展望と課題 治療経験を含めて (岸本 泰士郎) ……………	79
S2-2	テレビ会議システムを用いた認知機能評価の有用性時計描画検査について (江口 洋子) ……………	79
S2-3	遠隔医療はビジネスとして成り立つか? 遠隔医療システムのコストと損益分岐点 (粟津 和也) ……	80
S2-4	遠隔精神科医療をめぐる法制度と課題平成 27 年通達からのもう一步 (藤田 卓仙) ……………	80

JTTA International Workshop on Telemedicine 2016

1-1	Utilizing ICT and cloud technologies in healthcare (Kyoko Matsuba) ……………	82
1-2	Intel's IOT activities for healthcare (Yuka Shimizu) ……………	82
1-3	Enabling digital health solutions (Andrew Barrett) ……………	83
1-4	eICU – How telemedicine saves lives (Hiroshi Otake) ……………	83
2-1	Governmental efforts to globalize Japanese healthcare (Tadayuki Tanimura) ……………	84
2-2	Maternal and Child Health handbook in global setting (Yasuhide Nakamura) ……………	84
2-3	A Pilot interventional study on electronic Maternal and Child Health handbook by mobile health tool in rural Bangladesh (Ruoyan Gai) ……………	85
2-4	Overseas deployment of digital pathology network system (Toshiaki Manabe) ……………	85
3-1	Global presence of ICT for healthcare of Japan – In anticipation of the current situation of aging society in Europe and South Asia (Junko Kishimoto) ……	86
3-2	Argusoft's initiative of remote health management and education (Isao Kimura) ……………	86
3-3	Efforts of perinatal telemedicine in overseas (Yhuko Ogata) ……………	87
日本遠隔医療学会雑誌投稿規程 ……………		88
NOTICE TO CONTRIBUTORS ……………		92
日本遠隔医療学会雑誌に掲載された論文・記事の著作権の扱い ……………		94